様式第４号（第４条関係）

受付印

保育必要性の申立書

【疾病・負傷・障がい用】

児童氏名	フリガナ （　　年　　月　　日生まれ）	第１希望の施設名			
		利用中の施設名			
保護者氏名 （申立当事者）		児童との続柄		連絡先電話番号	
住　　所	〒 南丹市				
同一世帯の利用児童名	フリガナ （　　年　　月　　日生まれ）	同一世帯の利用児童名	フリガナ （　　年　　月　　日生まれ）		

次のことを事由に、保育の必要性を申し立てます。

年　　月　　日

南丹市教育委員会教育長　　様

氏　名

※申請者本人が署名できない場合は、申請者本人が認印を押印して下さい。

【疾病・負傷】

※以下の項目について医師の記載、証明により、診断書に代えて取り扱います。
※ご自身で病名、症状、受診状況を記入される場合は、別に「診断書(家庭保育が困難な状況が分かる意見書)」を添付してください。

病　　名	
症　　状	
受診状況	通院(　月・週　　日程度)・その他(　　)・入院(期間：　　)
医師意見	※児童を家庭で保育する上での困難さに関する意見
治療見込期間	年　　月　　日　から　　年　　月　　日　まで
上記のとおり意見を添えます。 年　　月　　日 医療機関名 住　所 医師名　　㊞	
※この書類に、医師の署名・押印をいただくか、別途「診断書」等を添付して、家庭保育が困難な状況の証明書類として提出してください。(いずれの場合も診断書料が必要です。)	
(本人)申立欄	※児童を家庭で保育する上での困難な状況・理由

【障がい】

手帳の種別	身体障害者手帳　　級・精神障害者保健福祉手帳　　級・療養手帳　A・B (※確認のため手帳の写しを添付してください。)
(本人)申立欄	※児童を家庭で保育する上での困難な状況・理由

記入上の注意

■保護者自身の疾病・負傷・障がいを保育必要性の事由としている方は、この「申立書」を提出してください。

■継続して保育を必要とする児童については、利用中の施設名を記入してください。新たに保育を必要とする児童については、第１希望の施設名を記入してください。

■きょうだいの保育施設の利用（新規・継続によらず）について、この証明書が必要な場合は、同一世帯の利用児童名欄にも記載してください。きょうだいの審査にも使用します。

疾病・負傷の場

■病名、病状、受診状況、治療見込期間、及びこれを理由に児童を家庭に保育することが困難であるという医師の意見を添え、この様式に医師が記入、押印することで、診断書に代えての証明として取り扱います。

■病名、病状、受診状況をご自身で記入し、別に児童を家庭で保育することが困難であることがわかる「診断書」を添付することでもかまいません。

■申立欄は、医師の意見の他、ご本人又は本人に代わる方で、家庭保育が困難な状況を記入してください。

障がいの場合

■障害者手帳等の障がい名や等級が確認できる部分の写しを添付書類として提出してください。

■申立欄は、ご本人又は本人に代わる方で、家庭保育が困難な状況を記入してください。